

# 試験研究の今後の取組方向

## 農業部門

減農薬・減肥料による環境に優しい生産体系  
気候変動に対応した安定生産技術の確立  
安全で効率的な病害虫防除技術の開発

(例) 具体的に取り組む研究テーマ

- ・ 畝内局所施肥同時畝立て成型機を用いた野菜施肥の減量・省力化
- ・ レタスを基幹とした多毛作における持続的安定生産技術
- ・ タマネギ腐敗球の発生軽減並びに非破壊判別技術
- ・ タマネギ細菌性病害の防除技術
- ・ 野菜を加害するネギアザミウマ防除対策
- ・ レタス栽培におけるウワバ類の防除技術
- ・ 光を利用したキクの開花を遅らせない夜蛾類防除
- ・ 重油使用量を低減するカーネーションの省エネ栽培技術
- ・ 強勢台木による優良カンキツの初期育成の改善と早期安定生産
- ・ 温州ミカンにおける隔年結果防止と品質向上技術

# 畝内局所施肥同時畝立て成型機を用いた野菜施肥の減量・省力化

## 背景

肥料コストの低減や環境負荷の軽減を図る減肥栽培技術、経営面積の拡大に伴う省力化技術の開発が求められている。

## 目的

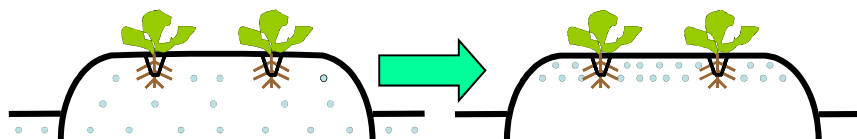
畝立て成型機に施肥機を取り付け、畝内の局所に効率的に肥料を散布・混和し、施肥の減量化と省力化を図る。



現在、キャベツやハクサイ、タマネギなどの露地野菜で、適正な施肥量や施肥位置などを検討中

全面全層施肥(慣行)

表層施肥(新技術)



レタスのマルチ栽培では、慣行栽培に比べ畝内表層施肥により、初期から肥効が現れ生育が旺盛となり、施肥量30%の減量が可能。作業時間も2/3に短縮



# 野菜を加害するネギアザミウマ防除対策



結球内部の腐敗



タマネギの被害

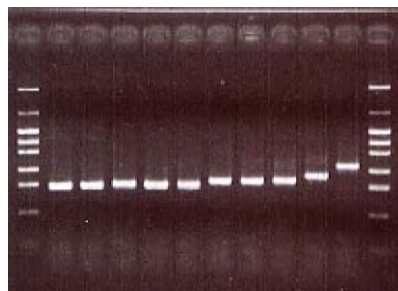


キャベツ結球部の被害



ネギアザミウマ成虫

近年 多発傾向、薬剤感受性の低下



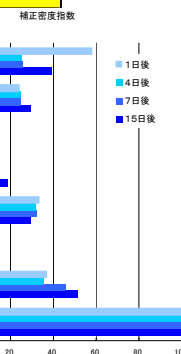
遺伝子診断により系統解析



ほ場での薬剤防除効果試験



室内試験による薬剤の活性調査



天敵(糸状菌)による防除

総合防除体系  
の確立

光の利用





# レタス栽培におけるウワバ類の防除技術の確立

